

大学名等	東北大学大学院医学系研究科
教育プログラム・コース名	がんゲノム医療・遺伝性腫瘍研修コース（インテンシブ）（テーマ③）
対象職種・分野	地域の中核的病院（大学病院を含むがん拠点病院含む）のがん診療に携わる医師および看護師および薬剤師等の医師以外のメディカルスタッフ
修業年限（期間）	1～2年間
養成すべき人材像	・バイオマーカーやゲノム診断を含む新しい個別化がん医療、個別化予防の基本を理解する医療人 ・希少癌・難治癌・遺伝性腫瘍・ゲノム医療などの新ニーズに対応し、地域に定着するがん診療連携拠点病院や地域がん医療連携を実践できる医療人。
修了要件・履修方法	・がん診療に携わる医療従事者で、事前に履修を届け出る。 ・実習と講義による研修形式。期間内に一定以上の受講をもって修了とする。
履修科目等	＜研修内容＞東北大学病院がんゲノム診断カンファレンスに参加、がんプロ合同セミナー＊を履修する。＊遺伝子診療部教育セミナー（遺伝性腫瘍、遺伝カウンセリング中心）、希少がん・難治がんカンファレンス、がんセミナー等を含む（いずれも毎月開催）。1～2年間で15回以上参加が必要。
がんに関する専門資格との連携	がん薬物療法専門医やがん専門看護師、遺伝カウンセラーなど、がん関連専門資格を取得済・あるいはこれから取得する人を対象とするが、専門資格との連携はない
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	・東北大学病院がんゲノム診断カンファレンス、遺伝子診療部教育セミナーで遺伝性腫瘍を広く研修する（新規性） ・個別化医療センターとがんセンターが連携する希少がん・難治がんカンファレンスで肉腫等の希少がん、多重がん等の難治がん、クリニカルシーケンスを診療科・職種横断的実践カンファレンスでスキルアップ（独創性）
指導体制	・遺伝科、小児科、遺伝子診療部、婦人科、乳腺内分泌外科、腫瘍内科、東北メディカルメガバンク等の各々の領域の専門医が連携して指導する。 ・臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラーによる教育体制を含む
修了者の進路・キャリアパス	・次世代がん医療人を養成する教員（がんプロ教員）のスキルアップ。 ・ゲノム医療を含む次世代がん医療の実践者、研究者。 ・がん拠点病院で次世代がん医療を普及できる医療従事者。 ・将来、臨床遺伝専門医や遺伝カウンセラーを目指す人材